Market Letter 情報提供資料

# ユーロ圏金融政策（2026年9月）

## 市場予想通り中銀預金金利を2.5%へ引き上げ

2026年9月11日

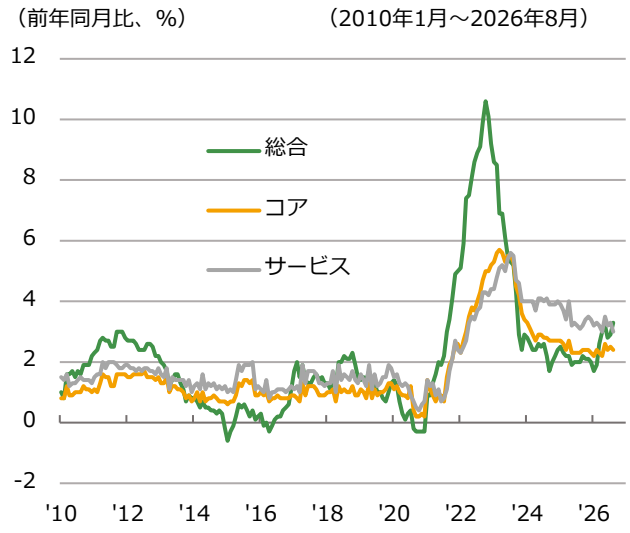
## インフレ見通しを上方修正、エネルギー価格次第で追加利上げの公算

ECB（欧州中央銀行）は9月9･10日（現地）の理事会で、現在の主たる政策金利である中銀預金金利（銀行がECBに所要準備を超えて預ける資金の金利）を市場予想通り0.25%pt引き上げ2.5%としました。昨年6月に2%へ引き下げて以降据え置いていましたが、今年6月に利上げに転じ、前会合の7月は据え置いた後、今回再び利上げしました。利上げは広く予想されていたため、決定自体にサプライズはありません。

ECBは前会合で、9月の理事会ではそれまでに発表される多くのデータに基づき金融政策を判断するとしていました。実際、中東での紛争が長期化しエネルギー価格が再び高騰するなか、四半期ごとに公表の経済見通しでは、消費者物価指数を2026年以降順に前年比+3.0%、+2.5%、+2.1%と、6月時点のそれぞれ+3.0%、+2.3%、+2.0%から、2027、2028年について上方修正しました。見通しに係るリスクは上振れのままです。消費者物価指数のうちコアは2028年でも+2.3%（6月時点では+2.2%）の見通しです。景気は底堅く推移しており、実質GDP成長率の見通しも2026、2027年について上方修正しました。

ラガルド総裁は記者会見で、不確実性が高いなか、金融政策はデータに基づき会合ごとに決定する方針を強調し、今後の金融政策の道筋について言質を与えませんでした。もっとも、経済見通しの前提の一つである市場が織り込む短期金利は、今回の利上げに追加して約2回の利上げを織り込んだ水準であり、エネルギー価格が高止まったままであれば、追加利上げの公算が大きいことが示唆されます。

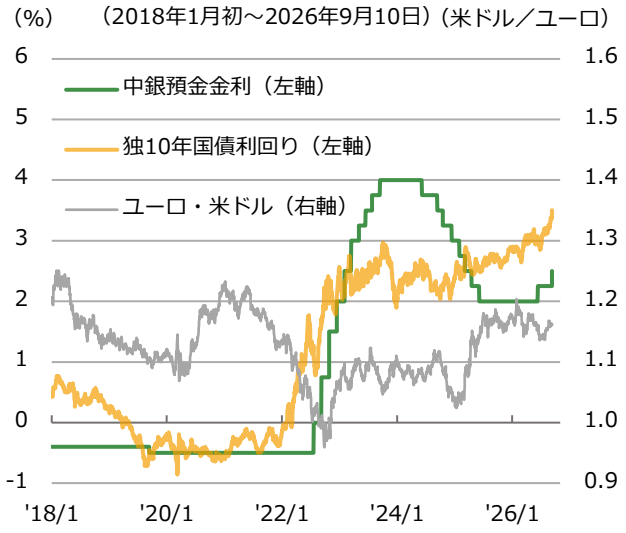
### ユーロ圏の消費者物価指数




※コアは食品・エネルギー・アルコール・タバコを除く系列

（出所）欧州統計局

### ユーロ圏の金利と為替




※中銀預金金利は発表日ベース

（出所）ブルームバーグ


**当資料のお取扱いにおけるご注意**

■当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。

■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。